

玉川福祉作業所

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-7-2

TEL.03-3707-0498 FAX.03-3707-7589

玉川福祉作業所 等々力分場

〒158-0082 東京都世田谷区等々力2-13-4

TEL.03-5707-1330 FAX.5707-1332

【事業主体】社会福祉法人大三島育徳会



玉川福祉作業所

自分が選んで自分で決める、
私らしい生活づくり

ホームページもご覧ください
<http://www.oomishima.jp/>

主な行事予定 (9月~12月)

9月1日(火) 防災訓練(非常食試食・伝言ダイヤル)

9月11日(金) 日帰り旅行(宿泊欠席者対象)

10月3日(土) 玉福まつり

10月5日(月) 利用者振替休業・職員全体研修

10月18日(日) 博水の郷文化祭

11月5日(木) いきいき世田谷販売会

12月6日(日) 区民ふれあいフェスタ販売会

12月15・16日 世田谷ポロ市販売

12月29日~ 年末休業

編集後記

玉川本園のある二子玉川には某人気コーヒー店が5店舗もある、全国でも珍しい地域です。今季大人気で、売り切れ続出の桃のフラベチーノも、ここでならありつけるかもしれません。
利用者クラブ活動でウォーキングをする際に休憩で利用したり、買い物外出の時に利用したりと、利用者もお気に入りのお店です。お店の方はいつでも親切に対応してください。
二子玉川には魅力的なお店がたくさん。お買い物の際には作業所にも寄っていただくと嬉しいです。自主生産品を揃えてお待ちしております。M

大規模災害訓練

法人本部「博水の郷」で大規模災害訓練に参加しました

玉川福祉作業所の運営母体である法人本部「博水の郷」の大規模災害訓練に代表利用者・職員が参加しました。消防署の指導を受けながらの本格的な訓練です。災害状況の変化に応じ、次々と判断、指示を出す防災本部。利用者の避難誘導。負傷者の搬送など、訓練とはいえないリアルティのあるシュミレーションに身が引き締まります。当日は相互災害協定を結んでいる社会福祉法人道友会「青森ワークキャンパス」の職員さんも遠路より参加いただきました。訓練を通し実際の災害に備える重要性を感じた1日でした。



第23回玉福まつり

今年も玉福まつりを10月3日土曜日10:30~開催します。場所は玉川本園です。利用者が主役。みんなの「晴れ舞台」になるよう、少し趣向を変えて準備を進めています。焼きそば・せんべい汁・フランクなどの模擬店やパザー品、手作りお菓子や手芸品などたくさんご用意してお待ちしています。

熱いぜ・行こうぜ
毎日が晴れの玉福



Oomishimaikutokukai

広報 たまがわ

発行元：世田谷区立玉川福祉作業所

戦後70年を迎えて

障害者支援局長 比留間 孝子



年々暑さが厳しくなり、真夏日・猛暑日・激暑日などの新語まで生まれる程地球規模で異変が起っていますが、何とか食い止められないものかと思案しています。特に今年の夏は、青く晴れ渡った空に8月6日広島、9日長崎原爆の映像が印象的に重なってしまいました。

戦後生まれの人々が全人口の80%になった今、日本が過去に侵した過ちをわれわれ戦後生まれに云い伝えてくださる方が減っていくことで、また過去の歴史のように弱者や障害者が苦しむようなことだけは絶対に避けるべきだと、いろいろな報道を見て改めて考えさせられた夏でした。



私たちの思い

施設長 阿久沢 佐喜子

「暑いですね!」と、この夏何回挨拶したことでしょう。おかげさまで、利用者の皆さんは体調を大きく崩すこともなく元気に通所されています。

さて、今回は職員研修のことを少しお伝えします。当法人では、職員一人ひとりが一年間の研修計画を立て、東京都社会福祉協議会・福祉人材センターの「階層別研修」や日本知的障害者福祉協会等の「障害理解の研修」に参加しています。参加後は全体職員会議で報告し、情報を共有しています。(法人ホームページ、作業所研修を参照)

作業所内研修の特色として、職員が全員参加する研修を8月・10月の年2回実施しています。今年の8月は明治学院大学・中野敏子教授の講義で、私たち職員に求められる専門性とは、その人の障害にあった必要な工夫ややり方を相手に伝え、その人に求められる課題を遂行できるよう配慮することだと学びを深めました。そしてグループワークでは、具体的な事例を使って障害のある方の思いについて課題を遂行するための支援について、皆で様々な意見を出し合い、発表しました。中野先生からは「まさにその場面で『合理的配慮』を作りだす想像性が支援の醍醐味で、知的に障害のある方が持つ不安や言葉にできない思いを職員に整理してもらいたいと期待しているのです」と、ご講評をいただきました。



利用者一人ひとりの思いに応え、さらに専門性に基づいた支援をしたいと職員皆で思いを一つに再確認した研修になりました。今後も継続して皆で学んでいきたいと思っています。

どうぞこの夏の暑さに負けず、また夏のお疲れがでないようご自愛ください。

主な記事：

戦後70年を迎えて
私たちの思い

きて・みて・
たまふく
チャレンジ!! 就労

本園だより
分場だより

行事予定
玉福まつり
大規模災害訓練

きて・みて・たまふく 施設公開

8月7日（金）猛暑の中、第3回目となる施設公開を開催しました。今年度は玉川本園、等々力分場の2会場同時開催でした。

当日は特別支援学校の生徒さん・保護者の方・先生、地域の方、関係機関の方等、延べ64名の方が足を運んでくださいました。みなさん熱心に見学され、オリジナルパッケージのたまピカクロス作りに加えて本園では機織り・陶芸のマグネット作り体験、分場ではリサイクルの額縁作り体験に参加され、作業所が賑わいました。

ご来場くださった皆さん準備等でご協力いただいた皆さんありがとうございました。



[機織り体験]

[陶器のマグネットやブローチに装飾]

[額縁]

[オリジナルパッケージのたまピカクロス]

Challenge!! 就労



[丁寧に履歴書作成]



[ハローワークで求職登録]



[緊張しながらの模擬面接]



[ハローワークで募集検索]

就労移行グループ実践報告

就労移行支援担当 飯岡

就労移行支援事業のこれまでの活動をいくつかご紹介いたします。

グループワーク「挨拶のタイミング」ではロールプレイを踏まえ、利用者さんに実際に体験してもらいました。他施設の就労移行事業所の利用者と共同で行う「就労ネットワーク利用者プログラム」では、それぞれの施設職員が面接官に分かれ模擬面接を行いました。また就職準備プログラムの活動として、渋谷ハローワークに求職登録にいきました。

本園だより

毎年恒例になっている、玉川高島屋で行われる「障害者オムニバス展」に、27年度はどんな作品を出そうかと昨年度下半期の美術クラブの面々が頭をひねりながら、取り組みを始めました。

最初は真っ白いTシャツに布用絵具で思い思いの絵をかいてみました。Tシャツに絵を直接書くなんて初めての体験。筆がすべらず、うまく運ばなくても玉福の画伯たちは意に介さず大胆に仕上げていきます。それだけでも迫力ある作品ができたのですが、そこにさらに刺し子やビーズなどのアップリケの装飾が施されました。たくさんの方の手で日に日にデコレーションされていくTシャツ。作品名は「ハウスダストとたまちゃんたち」。出来上がった時には最初の絵だけを担当した利用者さんがその変化に目を丸くし、声を失っていました。

(+o+)

オムニバス展で展示されたTシャツはその後、麻布十番にある雑貨店「Blue & White」主催のTシャツウィークにも出展されショウウィンドウを飾りました。



ハウスダストとたまちゃんたち

他施設の作品もすばらしく、みなさん釘付けになりました。



分場だより

今年度、スタートして早5ヶ月が過ぎようとしています。作業所の行事では宿泊旅行や施設公開など、地域の皆さまの協力のもと無事に行う事ができました。利用者さんも日々の作業を元気に頑張っており自立をめざして取り組んでいます。

みんなで協力する流れ作業で
たまピカクロスは完成します!!



のびし作業

干し作業



折り作業



宿泊旅行に向けて準備!!



施設公開にてフラッグリサイクルバッグを販売